

日本対がん協会

日本対がん協会は1958年に設立されました。わが国で最も早くからがん征圧運動に取り組んできた民間団体です。がんに対する正しい知識の普及や、がんの無料相談、がん検診の推進、医師や保健師、看護師、放射線技師らの研修・育成、検診車やX線撮影装置など、機器類の整備促進、がん患者さんのケアなど活動は多方面にわたっています。活動資金の多くは企業や個人からの寄付でまかっています。全国46道府県に支部があり、多くは市町村の住民検診を受託して精度の高いがん検診や予防、がんに関する知識普及活動